

偉大な指導者たちと朝鮮民主主義人民共和国

アジア・チュチェ思想研究所副理事長
スリランカ自力更生研究会委員長
W. A. ドゥミンドゥワルダネ

朝鮮民主主義人民共和国の高い名声と尊厳は一国と民族の偉大さは領土や人口の大きさによってではなく、その国、その民族の領袖の偉大さによって決定されるということを明白に示しています。

近代に入り、5千年の悠久な歴史と燦然たる文化をもった朝鮮の国力は朝鮮封建王朝の事大主義と外部勢力依存政策によって次第に弱くなり、影響力のための大国の競争の場となりました。結局、朝鮮は1905年、日本の軍事的占領下に置かれるようになりました。

朝鮮人民を亡国の民の悲惨な運命から救ってくれたのは金日成主席でした。主席は10代の幼年に朝鮮の解放のための革命闘争の壮途につきました。朝鮮革命の進路を探索していた過程に主席はチュチェ思想を創始し、その旗印のもとに20年間の抗日革命闘争を指揮して1945年8月15日、朝鮮解放の歴史的偉業を成就しました。

祖国に凱旋した後、主席は遅滞なく朝鮮労働党を創建し、土地改革と重要産業国有化と男女平等権をはじめ、民主改革をおこない、正規軍を創建しました。このような成果にもとづいて主席は1948年9月9日、東方で最初の人民民主主義国家である朝鮮民主主義人民共和国を創建しました。

主席は米帝国主義が引き起こした朝鮮戦争（1950－1953）で朝鮮の自主権と尊厳を頼もしく守りました。主席は短期間に戦後の復興建設と社会主義革命を完遂し、各段階の社会主義建設を勝利へと導いて、朝鮮を政治における自主、経済における自立、国防における自衛の社会主義国家に変えました。

主席は「以民為天」を生涯の座右の銘とし、主席の仁徳政治は人民大衆中心の社会主義制度が朝鮮に深く根を下ろすようにしました。主席は朝鮮の統一のための根本原則と方途を示し、生涯の最後の瞬間まで国の統一のために自分のすべてを捧げました。

主席は自主、平和、親善を朝鮮民主主義人民共和国対外政策の根本理念として規定し、精力的な対外活動で共和国の国際的権威を高めました。ほぼ半世紀にわたって国家元首、世界政治の元老として活動した主席は新たな自主時代を開き、社会主義運動と非同盟運動の発展に不滅の貢献をしました。

1994年7月8日、主席が逝去しましたが、主席は社会主義朝鮮の始祖、人類の自主偉業の導き手、朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席、チュチェの太陽として朝鮮人

民と世界の進歩的の人民の心の中に生き続けています。

主席が切り開いた革命偉業は主席の思想と偉業を忠実に奉じる上で自分の生涯を捧げた金正日総書記によって成功裏に継承されました。

1964年6月19日、朝鮮労働党中央委員会で活動をはじめた当初から総書記は半世紀余りの間に国を指導して時代と歴史の前に不滅の業績を積み上げました。

金正日総書記は主席の革命思想を金日成主席に定式化し、それを朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国の永遠な指導思想として輝かせました。

総書記は全社会の金日成主義化を朝鮮労働党の最高綱領に宣布し、その実現のための活動を賢明に組織、指導しました。

総書記は仁徳政治、幅広い政治を実施して広範な大衆を朝鮮労働党の周りに固く結束し、人民と人民軍将兵の思想の一致、闘争気風の一致を実現することにより、社会主義偉業の主体を非常に強化しました。

主席が逝去した後、金正日総書記は領袖永生偉業の実現の模範を創造し、革命と建設のすべての分野で主席の遺訓を指針とすることにより、主席の生涯と業績が万代に輝くようにしました。

帝国主義連合勢力が朝鮮に攻撃の矛先を向けていた去る世紀の末、金正日総書記は先軍政治を社会主義の基本政治方式に定立し、先軍政治を全面的に実施しました。

金正日総書記は朝鮮人民軍を不拔の軍隊として発展させ、自衛的で近代的な国防工業を全面的に強化し、全民武装化と全国要塞化を高い段階で実現させました。

年代を継いで金正日総書記が新たな革命的な大高揚の炎を燃え上がらせ、新世紀の産業革命の火の手を上げたことにより、朝鮮は人工衛星の製作および打ち上げ国、CNC技術の完全な覇権を握った科学技術強国としての自己の威力を誇示することができました。

金正日総書記は主席の祖国統一の遺訓を体して祖国統一の3大憲章を定立し、北南間に6.15共同宣言と10.4宣言が発表されるようにして、「わが民族同士」の理念のもとに前進する自主的統一運動の新たな時代を開きました。

総書記は老練な外交戦略と精力的な対外活動によって自主性を志向する他の国々との親善協力関係を拡大発展させたことにより、北東アジアと世界の平和と安定を守ることに大きな寄与をしました。

総書記は「以民為天」を自分の座右の銘とし、不屈の意志で徹夜の現地指導の道を歩み続けました。

総書記は2011年12月17日、走る列車の中で逝去しました。

金日成主席が切り開き、金正日総書記が発展させたチュチェの革命偉業は朝鮮労働党総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国国務委員長である金正恩総書記によって継

承されています。

金正恩総書記はチュチェの革命偉業にたいする限りない忠実性と卓越した指導力、無比の胆力と度胸、そして人民的品格を具えています。

総書記は領袖永生偉業の実現の新たなページを開きました。

総書記のエネルギッシュな思想理論活動と賢明な指導によって偉大な領袖たちの革命思想は金日成・金正日主義に定義づけられ、朝鮮人民は自主の道、社会主義の道に沿ってまっすぐに確信をもって行軍しています。

偉大な領袖たちが生涯、天のごとく見なした朝鮮人民を主席と総書記の映像として心に刻み、主席と総書記を戴くように奉じていくという人民観を持った金正恩総書記は人民の美しい夢と理想を現実として開花させるために人民愛の政治を施しています。

総書記はまた、人民に父なる愛と信頼を与えることにより、彼らを朝鮮労働党の周りに一人のように結束させました。

朝鮮民主主義人民共和国武力最高司令官に推戴された金正恩総書記は軍部隊を相次いで視察し、自衛的国防力の強化と社会主義偉業の勝利的前進を力強く推進しています。

今日、朝鮮人民は自力更生の原則を確固と堅持し、最近に竣工された和盛通り 1 万世帯分の住宅をはじめ、記念碑的建造物を連続的に建てて人民経済の主体化、近代化、情報化、科学化をより力強く推進し、奇跡的な成果を連続的に成し遂げたことにより、自立経済の威力を遺憾なく示威しました。朝鮮人民はまた科学と教育、保健医療、文学芸術そしてスポーツ分野で驚くべき成果を連続的に成し遂げました。

崇高な同胞愛と洗練された政治実力をそなえた金正恩総書記は 2018 年 4 月と 5 月、そして 9 月にあった 3 回の北南首脳対面と会談で板門店宣言と 9 月平壤共同宣言が採択されるようにして、北南関係で一つの転換点をもたらし、民族和解と団結、平和と繁栄の新時代を開きました。

総書記は帝国主義者の専横と戦争策動を挫折させ、世界の平和と安定を保障し、人類の自主偉業を推進する上で出色の貢献をすることにより、正義の偉大な守護者に国際社会の称揚を受けています。

今日、朝鮮人民は復興強国の新時代を開いた不世出の愛国者であり、平和の守護者である金正恩総書記を高く戴いているがゆえに、百勝の歴史と伝統は継承されるという確信に満ちています。

今後、より大きな成果があることを願い、スリランカの進歩的人民は金正恩総書記を首班とする朝鮮労働党の指導のもとに社会主義強国を建設している朝鮮人民の正義の闘争を常に支持するでしょう。